



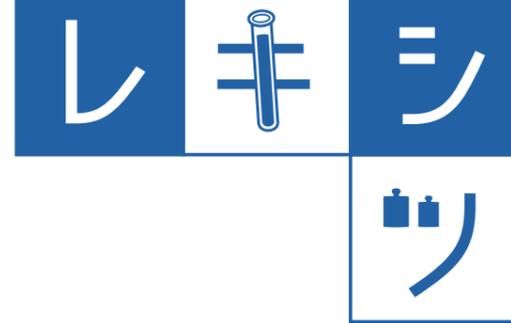
▲ 交野三山

今回取り上げるのは「竜王山」と「旗振山」です。先月紹介した交野山と合わせて「交野三山」と呼ばれています。この2つの山は交野山と同じ地殻変動でできた花崗岩の山です。

「竜王」とは、古来から水不足の時に雨乞いをする神様です。竜王山は、その名のとおり雨乞いをする信仰の対象になりました。こうした信仰の一部を現在まで伝えているのが傍示にある八葉蓮華寺です。このお寺は平安時代に行われた雨乞いをきっかけに建立されたと伝えられています。余談ですが、このお寺は鎌倉時代の名仏師、快慶作の阿弥陀如来立像が残されていることでも有名です。ちょうど一般公開(14頁参照)もありますので、ぜひどうぞ。

旗振山の「旗振」とは、江戸時代に大阪の堂島に米市場があり、その相場を京都の伏見まで見通しの良い山々で旗を振って伝える旗振り通信の拠点のひとつであったことが由来です。堂

歴史×地質



島の米相場は、全国の米相場を左右する重要な情報であったため、電話のない時代に情報を伝えるには、各拠点で旗を振って情報を伝えるこの通信方法が大事なものでした。

では、なぜとなりあったこの2つの山が、神様のいる信仰の山と生活に使う旗振りの山に分かれたのでしょうか。ここで地質の話が関係してきます。簡単に言うと、竜王山には巨岩があり、旗振山には無いからです。なぜ旗振山に巨岩が無いのかは分かりませんが、古くから巨岩は信仰の対象となり、巨岩のある交野山や竜王山で旗振り通信をするのは恐れ多いと考えられました。そのため、信仰の対象でない旗振山で行うことになったのです。

同じ花崗岩の山でも巨岩があるかないかで、信仰の山になったり生活の山になったり。面白いものです。



▲ 竜王山の雨乞岩



▲ 旗振りのイメージ

図 社会教育課文化財係 ☎893-8111

# さうだ、きさいち植物園に行こう!



ハンカチノキ

中国原産の落葉高木。花期は5～6月で花を包む白い苞の大きさは7～20センチになり、満開時にはたくさんのハンカチが垂れ下がったようになります。



カキツバタ

アヤメ属の多年草ですが、アヤメは山地に自生する植物であるのに対し、カキツバタは水辺に自生する水生植物なので、その生育環境は全く異なります。



ハナショウブ

アヤメ科の多年生草本で、日本に自生するノハナショウブから改良された園芸種。主に江戸系、肥後系、伊勢系などいくつかの系統に分かれています。



ミツガシワ

ミツガシワ科の多年生草本で、水生植物の中では、いち早く小さな白い花を咲かせます。和名の語源は、柏の葉に似て三つ葉になっていることに由来します。

## こぼれ話

4/2(火)から、これまで非公開にしていた研究用の絶滅危惧種などを、「西日本絶滅危惧植物エリア」として公開します。環境省のレッドリストに指定されている種や、西日本に生育する希少な種を中心に展示しています。

認定希少種保全植物園として保全に取り組んでいるアラゲタデやダイトウサクラタデ、準絶滅危惧種のサギゾウやコケリンドウなども含まれています。(季節により、入れ替えがあります)



アラゲタデ



コケリンドウ



サギゾウ



ダイトウサクラタデ

## イベント情報

5/4(祝)植物園の日《入園料無料》

詳細は当園ホームページをご覧ください。

大阪市立大学理学部附属植物園  
愛称:きさいち植物園

〒576-0004 私市2000  
☎891-2059 FAX891-2101  
✉b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

ご利用案内 ★65歳以上の市民は、登録いただくことで入園料が無料になります。(植物園メイト)

■ 開園時間: 9:30～16:30(入園は16:00まで)

■ 休園日: 毎週月曜日(休日の場合は開園)

■ 入園料: 大人350円(中学生以下は無料)  
団体(30人以上) 280円

■ 駐車料: 普通車500円/マイクロ1,000円/バス2,000円

■ アクセス: 京阪電車交野線「私市駅」下車徒歩約6分  
JR学研都市線「河内磐船駅」下車徒歩約20分

★詳細は、ホームページでもご覧いただけます。

Web: <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>